

1 比較

<書き下し文・意味>

<句法解説>

(1) ひとのわにしかず

地の利は人の和に如かず (地勢の有利さは一致団結した人々の強さには及ばない)

不[レ]如は、比較の句法。「～にしかず」と読み、「～に及ばない」と訳す。

(2) しくはなし

六国従親して以て秦を擯くるに若くは莫し (六つの国が南北にまたがる同盟を結び、秦の国をしりぞけるのが一番良い)

莫[レ]若は、比較の句法。「～にしくはなし」と読み、「～が一番良い」と訳す。

(3) うるにしくはなし

百年の計は樹を植うるに如くは莫し (百年の計を立てるなら、木を植えることが一番である)

莫[レ]如は、比較の句法。「～にしくはなし」と読み、「～が一番良い」と訳す。

(4) のぞくにしかず

一利を興すは一害を除くに若かず (一つ得になることを始めるよりは、一つ害を取り除くほうがよい)

不[レ]若は、比較の句法。「～にしかず」と読み、「～に及ばない」と訳す。

(5) せっせいにしかず

巧詐は拙誠に如かず (上手なつわりは、下手な真心に及ばない)

不[レ]如は、比較の句法。「～にしかず」と読み、「～に及ばない」と訳す。



【アプリ版のご紹介】古文・漢文

古文・漢文を学習中の中学生、高校生必見！定期試験とセンター試験に頻出の「古文単語」「古典文法」「漢文」を、完全に無料で学べるアプリが登場！！



【オマケの一題】

古文・漢文

「つとめて」の意味は？

(A) 翌朝 (B) 年末 (C) 週初め (D) 月末